友愛の丘通信

UAゼンセン中央教育センター
友愛の丘通信 第88号
（2026年3月1日発行）
発行責任者：浅川　淳
編集担当者：宮園　真理子

２月の研修報告～春にむけて心１つに！～

第232期　新任役員研修会

第233期　新任役員研修会

第41期カウンセリング講座

UAゼンセン教育委員会

富士社会教育センター
ユニオンリーダースクール

署名のご協力ありがとうございます！

「北朝鮮による日本人拉致被害者の救出を求める署名」

2025年３月～2026年２月（研修参加人数：548名）

1，618筆

私たちの仲間を帰せ！
～北朝鮮による拉致被害者全員の一刻も早い帰国を！～

UAゼンセンは、2002年から北朝鮮による日本人拉致被害者家族支援活動に取り組んできました。現在に至るまで署名・カンパ・資料活動を行っており、2011年から継続している内閣総理大臣宛の署名提出の総筆数も730万1,140筆にのぼります。

昨年12月に政府認定者・松本京子さん（拉致被害者の曽我ひとみさんの実母）、特定失踪者・大政由美さん（海外・労働組合の要望支援BOY故大政峰男さんの長女）の会見のみならず、一刻も早くすべての日本人拉致被害者が祖国に帰国できるよう、全国各自でのキャンペーン活動やセンター活動について取り組んでまいります。

2024年4月～2025年3月の取り組みで集約した90万1,601筆の署名を、2025年4月14日に林拉致問題担当大臣へ手渡した際、永島会長は「拉致被害者ご本人、そしてそのご家族は一日も早く再会を切ない思いでいる。政府・大臣がご一刻も早く動き出して、これまでよりも拉致を出した。それに対し、林大臣は「拉致問題は政府として一番重要課題である。この問題を進展させ、ご期待に応えていくことが大切である。いただいた署名を一筆一筆を重く受け止め、政府として毅然たる決意をもって一丸となって取り組んでいく」と回答しました。

□松本京子さん（拉致被害者曽我ひとみさんの母）　□大政由美さん（海外・労働組合要望支援BOY故大政峰男さんの長女）　□林拉致問題担当大臣へ署名提出

●●●政府認定者と特定失踪者●●●

政府認定者　政府認定者とは、北朝鮮による拉致被害者であると、政府が認定した方々のことです。政府は、政府が拉致認定を行う際に、しっかりと認定するために、「拉致被害者認定基準」を作成しました。この認定基準は、拉致の可能性を排除するために、「拉致の可能性を排除できない」の中間の段階を設けて、拉致の可能性の高さに応じて、拉致の可能性の高さに応じて、拉致の可能性の高さに応じ